

株主のみなさまへ

第113期

中間報告書

2021年4月1日～2021年9月30日



株式会社 日新

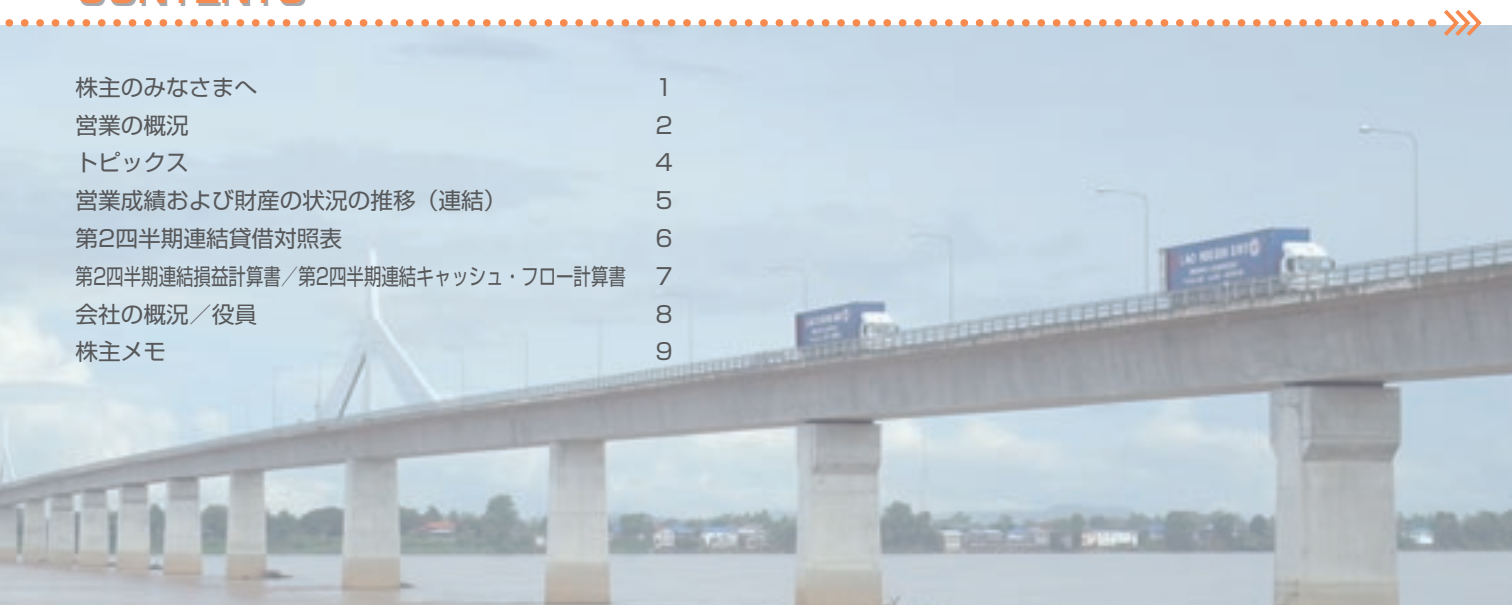
経営の基本方針

当社グループは、社名の由来である「日々新たに、また、日に新たなり」の精神を基本に、自己革新を続けながら、安全・迅速・低コストに高品質な物流・旅行サービスを提供することで、豊かな社会の実現に貢献するとともに、お客様との間に信頼を築き上げながら企業価値を高め、株主をはじめとするすべてのステークホルダーのご期待に応えることを経営の基本方針としています。

この基本方針を実現するために、当社グループは、経済・社会の発展に不可欠である物流事業をはじめ旅行業などの関連事業を、企業倫理・法令遵守の徹底および地球環境保全への積極的な取り組みなど企業の社会的責任（CSR）を果たしながら、グローバルに展開していくことを目指しています。

CONTENTS

株主のみなさまへ	1
営業の概況	2
トピックス	4
営業成績および財産の状況の推移（連結）	5
第2四半期連結貸借対照表	6
第2四半期連結損益計算書／第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
会社の概況／役員	8
株主メモ	9



株主のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

当社第113期第2四半期連結累計期間（2021年4月1日から2021年9月30日まで）の営業の概況をとりまとめましたので、ここに本報告書をお届け申し上げます。

当社は、当社グループの強みである海外ネットワークと国際物流を活かした新たなビジネスモデルを、グループ一体となって創出し続けることで、更なる飛躍と持続的成長を目指してまいります。

当年度の中間配当金につきましては、1株当たり28円とし、本年12月6日を支払開始日とさせていただきます。

株主のみなさまにおかれましては、変わらぬご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長

筒井雅洋

会社の概要

株式会社 日新

NISSIN CORPORATION

本 店	横浜市中区尾上町六丁目81番地 ☎045-671-6111	設 立	1938年12月14日
東 京 本 社	東京都千代田区三番町5番地 ☎03-3238-6666	資 本 金	60億9,726万3,500円 (2021年9月30日現在)
		ホームページ	https://www.nissin-tw.com/

営業の概況

当第2四半期の経営成績の概況

① 当第2四半期の経営成績

当第2四半期連結累計期間（以下「当第2四半期」）の世界経済は、新型コロナウイルス（以下「新型コロナウイルス」）のワクチン接種率の向上もあり、欧米での生産活動の再開が見られたものの、一部地域では依然感染拡大が継続し、本格的回復には至りませんでした。

当社グループにおいては、物流事業は、当第2四半期を通し好調な取扱いが継続しました。旅行事業においては国内旅行の取扱人数が上昇に転じたことに加え、経費削減施策も順調に進捗し、収益は大幅に改善しました。

これらの結果、当第2四半期における売上高は前年同期比24.2%増の85,931百万円、営業利益は3,603百万円（前年同期 営業損失251百万円）、経常利益は前年同期比609.0%増の4,344百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,364百万円（前年同期 親会社株主に帰属する四半期純損失155百万円）となりました。セグメントの業績は以下のとおりとなります。

② セグメントの業績

(i) 物流事業

[日本]

航空輸出は、海上コンテナ不足による航空輸送への切り替えが継続、自動車関連貨物の荷動きも好調に推移しました。また、海上輸出は、輸送スペース確保に努め、取扱いが増加しました。海上輸入についても中国からの家電製品輸入が好調に推移しました。

[アジア]

自動車関連貨物の増加によりタイ、マレーシア、ベトナム、インドネシアの航空需要が好調に推移しました。ベトナムでは自動車関連の他、電子部品、家電製品の航空輸出が好調に推移しました。また、コンテナ不足の影響が続くタイでは、輸送スペースを優先確保し、海上輸出貨物の取扱いが増加しました。

[中国]

香港発家電製品、電子部品の輸出が当第2四半期を通し好調に推移しました。また、物流混乱が続く中、現地法人各社は、輸送スペース確保に尽力し、通常貨物のみならず緊急貨物の輸出も増加しました。

[米州]

自動車関連貨物については、航空輸出の回復に加え、港湾混雑による海上輸入貨物の国内代替輸送が当第2四半期を通し継続しました。また、家電製品の倉庫保管、国内配送業務も堅調に推移しました。食品関連では航空輸出、海上輸入ともに取扱物量が増加しました。

[欧州]

ドイツでは家電製品の倉庫保管、国内配送に加え、フォワーディング業務も増加しました。ベルギーでは自動車関連貨物の輸出入が好調でした。ポーランドでは7月を底に倉庫業務が回復しました。英国では7月に主要取引先の自動車生産工場が閉鎖と

なりましたが、新たに非日系企業との取引を開始しました。

この結果、売上高は前年同期比25.4%増の84,114百万円、セグメント利益（営業利益）は前年同期比418.2%増の3,848百万円となりました。

(ii) 旅行事業

期初に設定した経費削減施策は順調に進捗しました。国内旅行については、一部海外旅行からのシフトが見られ、取扱人数が増加しました。一方、海外業務渡航については取扱人数が増加に転じたものの、本格的回復には至りませんでした。

この結果、売上高は前年同期比22.1%減の1,165百万円、セグメント損失（営業損失）は647百万円（前年同期 セグメント損失（営業損失）1,379百万円）となりました。

(iii) 不動産事業

京浜地区における工事関連の監理業務が増加しました。

この結果、売上高は前年同期比9.8%増の852百万円、セグメント利益（営業利益）は前年同期比3.9%増の392百万円となりました。

通期の連結業績見通しは、次のとおりです。

連結業績見通し

売上高	153,000 百万円	(前期比 1.9%減)
営業利益	6,400 百万円	(前期比 145.1%増)
経常利益	7,300 百万円	(前期比 70.3%増)
親会社株主に帰属する当期純利益	4,900 百万円	(前期比 144.1%増)

事業別の売上高の推移

部門	第112期		第113期第2四半期（累計）	
	売上高	構成比	売上高	構成比
物流事業	150,565 百万円	96.6 %	84,114 百万円	97.9 %
旅行事業	4,213	2.7	1,165	1.4
不動産事業	1,516	1.0	852	1.0
調整額	△379	△0.3	△201	△0.3
合計	155,915	100.0	85,931	100.0

トピックス

脚光を浴びる欧州向け鉄道輸送

「シベリアランドブリッチ」や「チャイナランドブリッチ」など鉄道輸送を利用した当社のサービスが、昨今のコンテナ・航空スペースの不足などにより注目を集めております。

当社は、これまでの豊富な経験や実績に基づき、同サービスを提供し、さまざまな顧客の要望に応じてまいりました。

また、需要の高まりを受けて、本年10月にはオンラインセミナー「シベリアランドブリッチー地球のための輸送提案」を開催するなど、シベリア鉄道輸送の優位性や、同サービスにおける当社の特色についてのご案内にも努めております。

今後もさまざまな需要に対応すべく、さらなるサービス品質向上に注力してまいります。



オーストリア日新 コロナ用簡易検査キットを輸送

当社グループであるオーストリア日新は、本年3月～6月に、中外運日新らの協力の下、チャーター機にてコロナ用簡易検査キットを輸送しました。

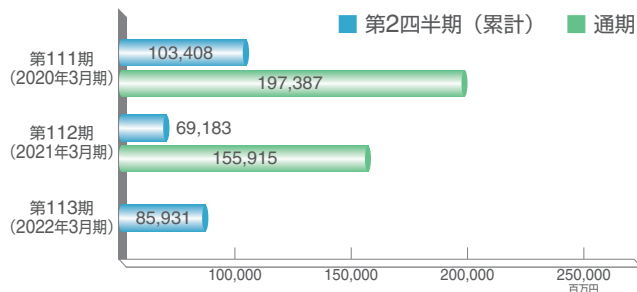
従来は中型機をチャーターして輸送を行っておりましたが、欧州各国でのコロナ用簡易検査キットの需要急増に応えるべく、世界最大級の貨物機「アントーノフ124」を用いて輸送を行いました。緊急性の高い業務となりましたが、4月30日に中国発、カザフスタン等を経由し、5月2日に無事、オーストリアに到着。欧州各国に配送されました。

当社は引き続き、世界24か国にある海外ネットワークを活かし、エッセンシャルワーカーとしての役割を果たしてまいります。

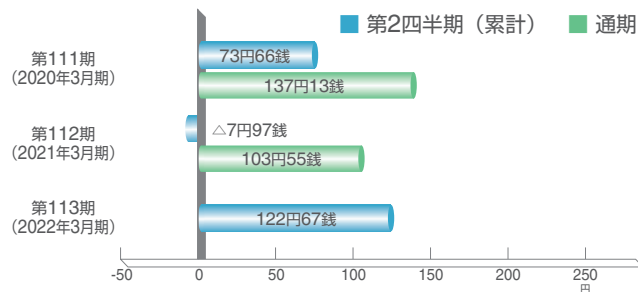


営業成績および財産の状況の推移（連結）

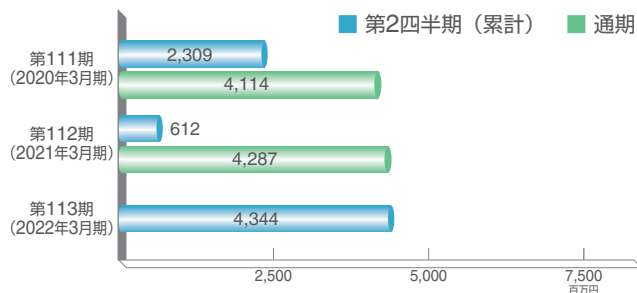
売上高



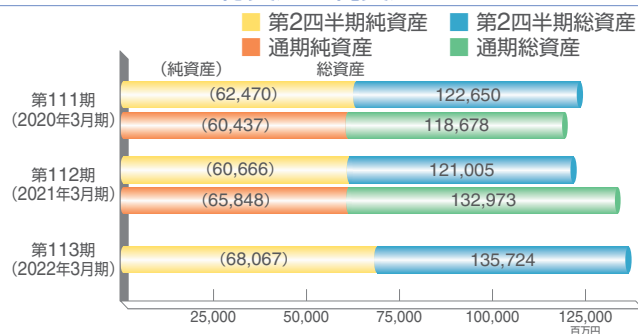
1株当たり四半期（当期）純利益又は1株当たり四半期純損失（△）



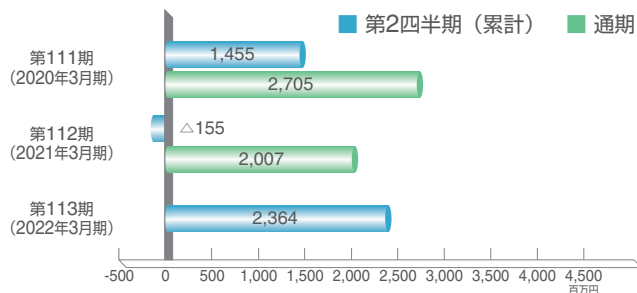
経常利益



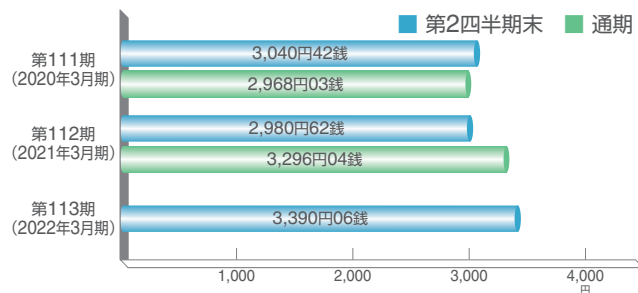
総資産・純資産



親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失（△）



1株当たり純資産



第2四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前連結会計年度末 (2021年3月31日現在)	当第2四半期連結会計期間末 (2021年9月30日現在)
資 産 の 部		
流 動 資 産	53,506	53,560
現金及び預金	18,815	16,787
受取手形及び売掛金	29,837	30,306
その他の	4,991	6,558
貸倒引当金 △	137	△ 91
固 定 資 産	79,467	82,164
有 形 固 定 資 産	55,331	56,030
建物及び構築物	23,666	26,133
機械装置及び運搬具	3,939	3,882
土地	24,721	25,379
その他の	3,003	635
無 形 固 定 資 産	1,438	1,342
投資その他の資産	22,697	24,790
資 産 合 計	132,973	135,724
負 債 の 部		
流 動 負 債	33,824	35,486
支払手形及び買掛金	12,501	12,182
1年内償還予定の社債	1,000	2,000
短期借入金	7,571	7,274
その他の	12,751	14,030
固 定 負 債	33,301	32,170
社債	1,000	—
長期借入金	21,825	21,810
その他の	10,476	10,359
負 債 合 計	67,125	67,657
純 資 産 の 部		
株 主 資 本	58,529	60,300
資本金	6,097	6,097
資本剰余金	4,736	4,706
利益剰余金	49,208	50,881
自己株式 △	1,512	△ 1,385
その他の包括利益累計額	4,799	5,166
非 支 配 株 主 持 分	2,518	2,600
純 資 産 合 計	65,848	68,067
負 債 純 資 産 合 計	132,973	135,724

Point ① 資産の部

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、受取手形及び売掛金が増加したほか、新倉庫への設備投資や土地の取得を行い、有形固定資産が増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ2,751百万円増の135,724百万円となりました。

Point ② 負債の部

当第2四半期連結会計期間末の負債は、支払手形及び買掛金が減少しましたが、流動負債のその他が増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ531百万円増の67,657百万円となりました。

Point ③ 純資産の部

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加等により、前連結会計年度末に比べ2,219百万円増の68,067百万円となりました。自己資本比率は、前連結会計年度末より0.6ポイント増の48.2%となりました。

第2四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前第2四半期連結累計期間 (2020年4月1日から 2020年9月30日まで)	当第2四半期連結累計期間 (2021年4月1日から 2021年9月30日まで)
売上高	69,183	85,931
売上原価	63,248	75,790
売上総利益	5,935	10,140
販売費及び一般管理費	6,187	6,536
営業利益又は営業損失(△)	△ 251	3,603
営業外収益	1,149	1,049
営業外費用	285	308
経常利益	612	4,344
特別利益	26	37
特別損失	199	826
税金等調整前四半期純利益	439	3,554
法人税、住民税及び事業税	531	1,249
法人税等調整額	61	△ 122
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△ 152	2,427
非支配株主に帰属する四半期純利益	3	63
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△ 155	2,364

Point ④ 営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは3,729百万円の収入となり、前年同期に比べ249百万円収入が増加しました。その主な要因は、税金等調整前四半期純利益が増加したこと等によるものです。

Point ⑤ 投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは3,676百万円の支出となり、前年同期に比べ1,429百万円支出が減少しました。その主な要因は、有形固定資産の取得による支出が減少したこと等によるものです。

Point ⑥ 財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは2,326百万円の支出となり、前年同期に比べ5,914百万円収入が減少しました。その主な要因は、長期借入れによる収入が減少したこと等によるものです。

この結果、当第2四半期連結累計期間の現金及び現金同等物の残高は14,742百万円で、前連結会計年度末に比べ2,207百万円の資金の減少となりました。

第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	前第2四半期連結累計期間 (2020年4月1日から 2020年9月30日まで)	当第2四半期連結累計期間 (2021年4月1日から 2021年9月30日まで)
営業活動による キャッシュ・フロー	3,479	3,729
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 5,106	△ 3,676
財務活動による キャッシュ・フロー	3,587	△ 2,326
現金及び 現金同等物に係る換算差額	△ 8	△ 24
現金及び 現金同等物の増減額(△は減少)	1,952	△ 2,298
現金及び 現金同等物の期首残高	18,474	16,949
新規連結に伴う現金及び 現金同等物の増加額	—	90
現金及び 現金同等物の四半期末残高	20,426	14,742

会社の概況

株式の状況

(2021年9月30日現在)

- ①発行可能株式総数 40,000,000株
- ②発行済株式総数 20,272,769株
(うち自己株式 446,192株)
- ③株主数 4,190名
- ④大株主(上位10名)

株 主 名	持 株 数
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,875 千株
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,010
株式会社三菱UFJ銀行	986
株式会社横浜銀行	978
日新商事株式会社	890
日本生命保険相互会社	735
株式会社三井住友銀行	649
日新社員持株会	642
損害保険ジャパン株式会社	528
日新共栄会	527

グループ国内主要拠点

北海道、東京、神奈川、千葉、大阪、兵庫、福岡 他

グループ海外主要拠点

アメリカ、カナダ、メキシコ、イギリス、ベルギー、ドイツ、フランス、ロシア、ポーランド、オーストリア、シンガポール、マレーシア、タイ、インドネシア、ベトナム、インド、ラオス、フィリピン、香港、中国、台湾 他

役員

(2021年11月8日現在)

取締役社長 社長執行役員 (代表取締役)	筒 井 雅 洋
取締役 専務執行役員 (代表取締役)	渡 邊 淳 一 郎
取締役 専務執行役員	筒 井 昌 隆
取締役 常務執行役員	石 山 知 直
取締役 常務執行役員	鳥 尾 省 治
社 外 取 締 役	藤 本 進
社外取締役 監査等委員(常勤)	藤 根 剛
社外取締役 監査等委員	増 田 文 彦
社外取締役 監査等委員	小 粥 純 子
常 務 執 行 役 員	中 込 利 嘉
常 務 執 行 役 員	中 込 嶋 粹 芳
常 務 執 行 役 員	中 栗 原 智
常 務 執 行 役 員	桜 井 哲 茂
常 務 執 行 役 員	峯 男 樹
執 行 役 員	梅 本 一
執 行 役 員	川 本 一
執 行 役 員	章 川 栄
執 行 役 員	木 村 国 雄
執 行 役 員	稲 勝 志 夫
執 行 役 員	珍 田 昌 一
執 行 役 員	山 田 哲 稔
執 行 役 員	大 久 保 忠 行
執 行 役 員	不 破 淳
執 行 役 員	北 川 義 剛
執 行 役 員	森 川 哲 也

株 主 メ モ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL https://www.nissin-tw.com/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

各種手続のお申出先

- 未受領の配当金のお支払いについては、株主名簿管理人にお申出ください。
- 住所変更、単元未満株式の買取・買増、配当金受取方法の指定等
証券会社をご利用の株主様は、お取引の証券会社へお申出ください。
証券会社をご利用でない株主様は、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行へお申出ください。

特別口座でのお手続用紙のご請求はインターネットでもお受け付けております。

ホームページアドレス <https://www.tr.mufj.jp/daikou/>

(一部の用紙は、お手持ちのプリンターで印刷できます。)

ホームページのご案内

<https://www.nissin-tw.com/>

最新の情報は当社ホームページで
ご覧いただけますのでご利用ください。





横浜交易西洋人荷物運送之図 五雲亭貞秀（神奈川県立歴史博物館所蔵）

NISSIN CORPORATION

